

レジメンcode:	C35-57
適応がん種:	非小細胞肺癌
レジメン名:	PEM+CBDCA+Osimertinib
間隔:	3週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
PEM	ペメトレキセド(アリムタ)	500	mg/m ²	点滴(10分)	d1
CBDCA	カルボプラチン(パラプラチン)	5	AUC	点滴(1時間)	d1
	オシメルチニブ(タグリツ)	80	mg/body	内服(朝食後)	連日

*PEM+CBDCA+Osimertinib 最大4サイクル実施後、C35-58(PEM+Osimertinib)維持療法に移行すること。

ペメトレキセド(アリムタ)初回投与の1週間以上前～ペメトレキセド(アリムタ)最終投与日から22日目まで連日投与

1) パンビタン	1 g/day
	内服 朝食後

ペメトレキセド(アリムタ)1週間以上前～ペメトレキセド(アリムタ)最終投与日から22日目まで9週ごとに1回

1) シアノコバラミン	1000 μg	1 A
		筋注

day1【ケモセーフ使用】

1) アロカリス	235mg	1 V
パロノセトロン	0.75mg	1 V
デキサート	3.3mg	1.5 A
生食	50ml	1 本
	主管①	点滴 30 分

2) ペメトレキセド(アリムタ)	500 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
生食	100ml	1 本
	主管②	点滴 10分

3) カルボプラチン(パラプラチン)	5 AUC	【ケモセーフ使用】
生食	250ml	1 袋
	主管③	点滴 1時間

4) 生食	50ml	1 本
		フラッシュ

〈所要時間 約2時間〉

連日

1) オシメルチニブ(タグリツ)	80 mg/body
	内服 朝食後

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験【FLAURA2試験 N Engl J Med 2023;389:1935-1948 (PMID:37937763)】

【適応】

EGFR遺伝子変異陽性の手術不能または再発非小細胞肺癌

(他のEGFRチロシinkinase阻害剤による治療歴を有し、病勢進行が確認されている患者で、EGFR T790M変異が確認され

(他のLDTA/ロシニド/た患者に投与すること)

と副作用による不快感を伴い、病勢進行が確認されている患者では、LDTA 1750mg 投与が確認され